

たとえば・・・01

- バスをはじめとした公共交通ネットワークの確保
- 除雪費は過去最大（今年1月末の大雪を受け、この度の定例会にて約75億円の補正予算が可決）



たとえば・・・02

- 5歳児発達サポート健診事業
- 再開発事業

たとえば・・・03

- 4月導入の「宿泊税」が37の事業に活用される予定（秋元市長は「宿泊税を活用し、観光客や市民生活にも好影響をもたらす施策を展開する」と強調している。）

全市民に現金5千円を給付

令和7年度札幌市物価高対策臨時給付金です。（4月末以降の給付予定）

他にもたくさん新規や拡充事業が提案されています。詳しくは「令和8年度札幌市予算の概要」をご覧くださいませ。



こちらのページに、予算の概要がございます↑

4月から変わること、いくつか

- 札幌健康アプリ「アルカサル」の本格運用開始
- 火葬場の使用料が有料化（里塚斎場・山口斎場）
- 敬老パスの年齢引き上げや上限額の引き下げ
- 小学校の給食費が保護者負担ゼロ（R8）
- 宿泊税の導入

一般会計予算の概要

総額 1兆3,185億円 対前年度 +519億円 (+4.1%)



札幌市議会議員 白石区選出



しのはら 篠原すみれ

市政報告 すみれたへ 2026年2月発行

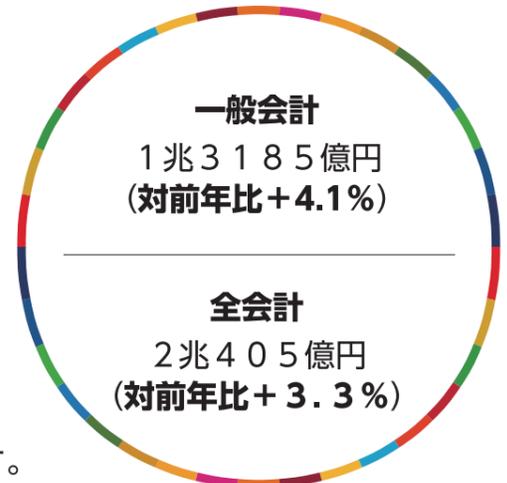
発行者/札幌市議会民主市民連合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL:011-211-3212
しのはらすみれ市政事務所/札幌市白石区東札幌2条3丁目7番31 KURODA・BLD・1F
TEL:011-876-9107 FAX:011-351-5798

本書の色使いはカラーユニバーサルデザインに配慮し、フォントはUDフォントを使用しています。

令和8年度札幌市予算案について

令和8年度の予算案が、2月12日開会の第1回定例会市議会に提出されました。秋元市長3期目の最後となる本格予算です。3月26日の最終日まで、特別委員会にて各局の予算案を審議いたします。

将来世代に過度な負担を残さない持続可能な財政運営を取り組むため、「内部経費の徹底的な見直しと節減」「事業の選択と集中」という考えに基づき提案されたものです。



「市民の暮らしを守り、札幌の未来を創る予算」の3つの柱

- PLAN 01
- PLAN 02
- PLAN 03

- 市民生活を守り、安心して快適に暮らせる街
- 次世代の支援・育成、未来の札幌の成長に向けた投資
- 持続可能な観光都市としての発展



各委員会等で、道外視察の機会もいただいておりますが、改めて見渡すと、札幌市に関わる市内施設の中にも、まだ訪問できていない場所、施設の内容についてしっかり理解できていない場所が、数多くあることを実感しています。現場で得た気づきや学びを、市民生活に還元できるよう、取組んでまいります。そこで、最近、白石区にある施設を視察した内容について、簡単にご報告いたします。

札幌花き地方卸売市場

所在地：白石区流通センター7丁目4-1（アクセスサップロの近く）

2026年1月16日訪問

開設・運営は、札幌市が出資する株式会社札幌花き地方卸売市場が担っており、地方公共団体と民間がそれぞれの責任と権限を分担しながら、経済性・効率性を追求する第3セクター方式により運営されています。

同市場は昭和56年4月に開設され、現在では道内の花き市場流通の6割以上を取り扱う中核的拠点となっています。

一方で、生産者の高齢化や花き専業農家の減少、生産量の縮小といった構造的課題に加え、物価高騰や生活様式・葬儀形態の変化など、市場を取り巻く環境は大きく変化しています。花は生活必需品ではなく嗜好性の高い商品であるため、場合によっては、その特性による市場運営の難しさがあることを学びました。2027年には横浜市で「国際園

芸博覧会」が開催予定であり、花き産業への関心の高まりが期待されます。本市としても、その機運を追い風とし、産業の活性化につながるよう後押ししていくことが重要です。



●せりの様子

札幌市産業振興センター

所在地：札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1（札幌コンベンションセンターの近く）

2026年1月21日訪問

一般財団法人さっぽろ産業振興財団が、市の指定管理により運営しています。施設は「産業振興棟」と「技能訓練棟」の2棟で構成されており、今回は「Sapporo Business VILLAGE」と「Sapporo Business HUB」を視察しました。VILLAGEは、起業希望者や創業者向けのインキュベーション施設で、低廉なオフィス提供と経営支援を行っています。HUBは、企業や人をつなぎ、新たな価値創出を目指す交流拠点です。

同様の施設は全国にあります。市が運営する強みは、利用料の安さと分野を限定しない支援、そして市の施策と連動したサポートが可能な点にあります。

白石区でビジネスの種が数多く蒔かれ、それらが本市の経済発展に寄与していくことを期待しています。



●産業振興センターの中にある「産業情報スクエア」

独立行政法人国際協力機構 北海道センター（札幌）通称：JICA

所在地：札幌市白石区本通16丁目南4-25（リフレサップロの隣り）

2026年1月22日訪問

JICA（国際協力機構）は、開発途上国への技術協力や人材育成を担う政府系機関で、札幌にも拠点があります。国際交流は海外に行かずとも北海道から取り組むこともでき、多文化共生

を推し進める本市にとって大事な存在といえます。国際協力推進員の派遣にとどまらず、道内企業の海外展開支援や、外国人材が安心して働き暮らせる環境づくりなど、活動は多岐にわたり、地域経済と持続可能な社会の実現に貢献しています。なかでも、「中小企業・SDGsビジネス支援事業」や「外国人材受入れ・多文化共生支援事業」について興味深く、今後の政策形成に役立てていきたいです。

施設には研修生の宿泊機能や、世界の文化やSDGsを学べる展示もあり、子どもたちの関心も高いとのことでした。国際協力を地域の活力につなげる視点の大切さを実感しました。ちなみに、2月20日の本会議における我が会派の代表質問で、「多文化共生」について取り上げました。



●様々な国の文化を感じられるエントランス